



港区新橋5-15-5  
交通ビル 3F  
国労東日本本部  
発行責任者 佐藤 勝雄  
編集責任者 伊藤 隆夫

2004年2月9日  
第606号  
定価 20円  
組合員の購読料は  
組合費に含まれています

もう一人の仲間を国労に  
**国労加入を**  
大胆に訴えよう

# 重大事故で 団体交渉を催す！

## 「中央線高架化の線路切換工事」に伴う事故に関する団体交渉を行う

中央線の三鷹～国分寺間において、昨年9月27日夕方から行われた高架化の線路切換工事でトラブルが発生し、翌28日の始発から半日にわたり不通となり、復旧したのは午後2時となりました。緊急の記者会見でJR東日本大塚社長は、謝罪するとともに「表面上は単純なミスだったが、トラブルが相次いだことは、たまたまでなく、深部に問題があったと考えている。」と述べるなど、従来、『施工業者に任せ』JRがしっかりとした責任を持っていなかったことを発露したものと見えます。その後、国土交通省は、JR東日本に対する立入検査を実施し、昨年12月19日、JR発足後異例ともいえる「鉄道事業法第23条第1項」に基づく「事業改善の命令」を発しました。

これを受けて、去る1月29日に昨年11月5日付、表題の申第3号についての団体交渉を行いました。尚、主な交渉経過等については「業務連絡報 第240号」を参照して下さい。

1. JR東日本は、「工事の規模に見合った工程管理を行い、社内承認された図面により請負会社へ施工の指示」を行うのか。

組合：国土交通省の「事業改善命令第2項」は、JR東日本に対してか。

会社：JR東日本に対する指摘である。

組合：今後、どのようにしていくのか。

会社：これまで工程管理が行き届かなかった面があり、今後、工程システム、新しい仕組みを作り工程管理を進めていく。国土交通省の指摘については、実施する。

2. 今後、ベテラン技術者が大幅に減少する中で、どう技術者を養成していくのか。

組合：今後、どのように技術者を養成していくのか。現在の検討内容は。

会社：退職者が増加するも、新規採用枠をこれまでの倍を考えている。また早めに仕事を習得できるよう検討している。

3. 今後、事前の検査が終了しない場合は、仕事のゴーサインを出さないのか。

組合：今回の場合、9月12日までに完了していなければならない試験、検査が未完了だったのか。

会社：その通り。9月12日に社内の検査を実施。その時に、未実施箇所が幾つかあった。未成工事があったが、切換工事までに実施できると判断しすすめてきたが、不十分であったと反省している。

組合：今後、未成工事があった場合どうするのか。今回のような見切り発車はやらないということでのいいのか。

会社：全て完了した確認がない場合は、工事のゴーサインは出さない。事前の判定会議で確認し、判断を行っていく。

組合：今後は、事前試験を必ず行うのか。

会社：実施していく。

など、改めて中央線のトラブルの原因、背景の一端が明らかになりました。今後、設備メンテナンスの再構築の見直し交渉とも結合し、職場からの点検・検証を強める取り組みを強め、職場の労働条件を改善しましょう。

### 千葉に続いて八王子でも

#### 若杉 和夫さん(56歳)が、国労復帰！

(三鷹保線技術センター分会)

#### 最後は、国労組合員として退職を迎えたい、と

昨年末、千葉車掌区で、国労復帰(市川薫さん)がありましたが、年が明けた1月、今度は八王子支部で、組織復帰を勝ち取ったことが報告されました。

八王子で組織復帰を勝ち取った職場は、三鷹保線技術センター分会です。

今年56歳になる若林和夫さんが、「いろいろな経過があったが、最後は国労組合員として退職を迎えたい」と、「2月1日付国労復帰」を申し出たことが報告されました。

これは、国鉄改革と称した国労潰し攻撃によって、国労組合員であることから様々な選別・差別の攻撃を行われてきた中でも、国労と国労組合員は常に労働者の立場にたって、職場の労働条件改善の取り組みを通じ、安全で安心、明るく楽しい職場をつくろうと努力してきた姿に、職場の仲間達が注目し続けてきたことを証明するものではないでしょうか。

「一企業一労組」の社是のもとで企業自らが育ててきた大労組内に極左暴力集団が巣くう偏ばな労務政策のもと、安全も正確も、そして安心まで奪われ続けている現実には、放置され続けるわけにはいきません。

当面する2月16日のILO等報告集会(18時～、大井町駅前、品川きゅりあん)、及び17日の国会等要請行動を成功させつつ、イラク侵略戦争に加担する自衛隊海外派兵反対・04春闘勝利の取り組みを強める中で、改めて、他労組組合員の視線が職場の国労と国労組合員に注がれ続けていることに自信を深め、全職場での組織強化・拡大に取り組みましょう。

# 第18回 東日本青年部 定期委員会開催

東日本青年部では、暮も迫った12月14日、交通ビル3階会議室において第18回東日本青年部定期委員会を開催しました。

当日は、阿部常任委員の自らの職場統廃合による配転と実態報告を交えた司会で始まり小菅青年部長より、「JR採用の組合員も徐々に卒業を迎え寂しい委員会になってしまったが、岡山で3名の加入を勝ち取った西日本に学び、東日本でも新しい仲間を迎えるように頑張っていきたい。」との挨拶と、「中央本線の線路切換工事における輸送障害事故等について社長は『社員がたるんでいる』と何ら責任を取らずに社員へ責任転嫁している。これに対して現場では管理者を含め経営陣への不満や怒りの声が出ている。」という報告を受けました。

続いて東日本本部の佐藤委員長から採用差別事件の最高裁判決についての東日本本部での取り組みと、北海道エリアにおける組織分裂問題に触れ「秋田・長野での組織分裂から始まり、今回は貨物を含めての脱退が起きた。JR連合との合流を唱える人がいるが、国労を脱退しても闘争放棄と仲間を裏切る事実しか残らない。全国の仲間と心をつなげて団結して頑張ろう。」との挨拶を受けました。

この間における経過報告と当面する活動方針についての発言の後、傍聴者を含めた参加者全員で職場実態や、他労組の動向についての活発な発言と報告がされました。

休憩を挟み、参加者発言と報告を踏まえた青年部長集約へと移り、「青年部同士の繋がりを大切に、他労組の仲間との交流を深めて組織強化・拡大を勝ち取ろう。」と締めくくりました。

その後、議事は東日本本部青年部役員選出、委員会宣言の承認を行い、小菅青年部長の団結ガンパローで散会しました。

## ■参加者発言(概要)

「東労組の運転士が飲酒運転で事故を起こし禁固刑になった。運行停止処分を受け損害額は5千万円になり、運休された分は東海・西日本バスが代替運行している。会社倒産運動を行っているのは東労組では? (東京・自動車)」  
 「新幹線電車の検査周期延伸がされ、八戸開業により走行距離が伸びているので作業量が大変増えた。東労組を巻き込んで要員増と検査機械の更新を勝ち取った。(仙台・旅客)」  
 「採用者を国労加入させるためには職場・系統同士の連携が必要だ。駅系統から乗務員になった時に元職場との繋がりがあればスムーズになる。(東京・旅客)」  
 「青対部の先輩方が頑張っている。青年部はいつも同じ顔ぶればかりだが、まだ頑張れるのでやっていきたい。年末手当は低額回答で貨物労組の青年部員も不満だ。貨物労組のイベントは参加者が少なく中止になった。行きたくないのでも番乗務した人も。(東京・貨物)」  
 「タンクコンテナから塩酸が漏れる事故があり、会社は事故の処理を薬品の知識のない社員にやらせた。委託先会社との取り決めが蔑ろにされているので団交を行ったが、会社側から明確な回答は無し。試作貨車が衝突脱線事故を起こした。愛知の車両メーカーまで回送できず現場で修理をしたため修繕費がかなり高かった。合理化・外注化を進めている矢先の事故だった。(新潟・貨物)」  
 「点呼の厳正をやらされている。作業上、常に汚れるため制服が多めに必要なのに現状では不足状態。所長の個人的努力で支社などから集めてきたのだが、制度として引き続き要求を行っていく。松下氏の配転から2年4ヶ月経過。うっかり寝坊してしまうと間に合わなくなるので年休になってしまう。自宅に近い職場へ動かすよう働きかける。(東京・貨物)」  
 「私鉄との連絡駅に異動したが、連絡改札口でのトラブルが多く忙しい。長距離通勤者が多いため団結が図りにくい環境。新採者が多く東労組に興味はないらしいのだが、支部委員長がいるために不満は口に出せない(東京・旅客)」

## 新役員体制

青年部長	小菅 隆寛	(東京)
副青年部長	坂本 善昌	(長野)
書記長	森岡 英夫	(東京)
常任委員	阿部 宏	(千葉)
//	野澤 浩司	(東京) ※新任

## 退任

常任委員 森脇 雅章 (東京)  
長い間お疲れ様でした。

# 第17回 東日本婦人部 定期委員会報告

東日本婦人部は、1月25日、交通ビル3階会議室において、第17回婦人部定期委員会を開催しました。

東日本本部の伊藤書記長から挨拶と情勢の報告を受けました。

当日は、委員の他に盛岡地本から3名の傍聴の参加もあり、職場の実態を中心に討論となりました。

○職場が業務委託化となり、みどりの窓口に配転させられた。接客はこなせるが、過不足のでもこともあり、疲れる。締切操作に時間がかかり、欲しくもない超勤がつく。反面、今まで話すことのなかった他労組の女性達と話せるようになった。

○契約社員の女性達と接触もった。労働条件が非常に悪い。でも、文句を言うとクビになるので言えない。同じ働く女性としてこれでいいのだろうか。

○平成採用の女性達がよく相談に来る。東労組の女性も同じ職場にいるのに、そちらには行かない。東労組は組合員の面倒をみていない気がする。等々の意見がありました。

今年度中にも3名の仲間が定年退職を迎える予定であり、婦人部の存続のためにも組織は重要な課題であり、少しのきっかけでも生かして拡大につなげていかなければなりません。

その後、役員選出、委員会宣言の承認を行い、佐々木婦人部長の団結ガンパローで散会しました。



## 新役員体制

婦人部長	佐々木 久恵	(東京)
副婦人部長	小野寺 京子	(盛岡)
常任委員	横山 幸子	(仙台)
//	清塚 久子	(高崎)
//	斉藤 七重	(水戸)
//	倉石 真知子	(長野)

## 退任

常任委員 高嶋 節子 (長野)



## ぼくの選んだ〈がん保険〉は、病気・ケガまでマックスの保障!

いちばん心配な「がん」の保障はもちろん、ほとんどの病気・ケガの入院治療を保障します。

〈スーパーがん保険〉の充実保障に〈特約MAX〉をプラス。

主契約	一保障内容一	一時金として	特約	保障内容	一時金として
がんの保障	診断給付金	100万円	病気の保障	疾病(災害)入院初給付金	2万円
	入院給付金	1万5千円		疾病(災害)入院給付金	5万円
	在宅療養給付金	20万円		手術給付金	5・10・20万円
	通院給付金	5万円			
	死亡保険金	150万円			
付帯	本人(個人契約)		本人(個人契約)・子供の保障者		

生きていく人に、マックスの力。

スーパーがん保険 + MAX

健康応援団

**MAX**

月々30歳の場合(月給5万円) 月々の保険料は...3,765円

■専業代理店

**アベニール(株)**

☎03-3437-6810

☎03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-16-5 交通ビル3F

あなたがいっしょに考えて選ぶ保険会社でありたい。

**アメリカンファミリー生命保険会社**

東京支店 東京都中央区本町1-11-11 11F 電話03-3344-1889